

II 報告

関西 3 空港懇談会の開催について

1. 概要

第 11 回関西 3 空港懇談会が開催され、神戸空港については、国際化を含む空港機能のあり方に関する検討を深化させ、次回懇談会で報告することについて合意がなされた。

2. 第 11 回関西 3 空港懇談会について

- ・開催日 : 令和 4 年 1 月 13 日 (木)
- ・座長 : (公社) 関西経済連合会 松本 正義 会長
- ・参加機関 : 国土交通省航空局、国土交通省大阪航空局、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、大阪市、堺市、神戸市、大阪商工会議所、神戸商工会議所、関西エアポート(株)、新関西国際空港(株)、(公社) 関西経済連合会

3. 懇談会報告の基本方針

- ・新型コロナウイルス感染症の収束による入国規制解除のタイミング等を捉え、速やかに航空ネットワークや需要を回復させ、併せて、2025 年までに、万全な空港受入体制を整え、「2025 年大阪・関西万博」の成功を期すとともに、さらなる関西の成長へと繋げるため、迅速に需要回復を図るための取組を準備し、関西の官民が一丸となって進める。
- ・第 9 回懇談会取りまとめで合意した取組である、関西空港の発着容量の拡張に関する検討、神戸空港のあり方の検討などを着実に進める。

4. 神戸空港に関する取組内容

- ・新型コロナの動向等も踏まえつつ、関空・伊丹を補完する観点からの国際化を含む空港機能のあり方について、関係団体の協力の下、関西エアポート及び神戸市による検討を深化させ、次回(第 12 回)懇談会で報告。

(参考) 第 9 回関西 3 空港懇談会における神戸空港に関する合意内容

(1) 2021 年頃までの短期の視点に立った取組

国内線発着枠、運用時間の段階的拡大(当面、最大発着回数 60 回/日⇒80 回/日、運用時間を 22 時⇒23 時まで延長)、プライベートジェットの受入推進(CIQ 関係省庁への協力要請等)

(2) 2025 年頃までの中期の視点に立った取組

関空・伊丹を補完する観点から、国際化を含む空港機能のあり方の検討